

**令和7年度進行管理・評価シート**  
**磐梯町歴史的風致維持向上計画（平成28年1月25日認定）**  
（最終変更令和2年5月25日）

■進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画の実施に向けた推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	-
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 史跡慧日寺跡整備事業	2
2 歴史的建造物保存事業	3
3 歴史的文化遺産調査事業	5
4 歴史的まちなみ防災対策事業	7
5 まちづくり団体設立・育成支援事業	8
6 伝統文化財継承事業	9
7 磐梯町景観計画策定事業	10
8 歴史的まちなみ整備事業	11
9 慧日寺参道整備事業	12
10 慧日寺門前市整備事業	13
11 花川自然石護岸及び水路改修事業	14
12 大寺城の調査・保全整備事業	15
13 大寺地区歴史的風致保全事業	16
14 史跡慧日寺跡へのアプローチ整備事業	17
15 大型バス迂回路整備事業	18
16 磐梯山慧日寺資料館リニューアル事業	19
17 磐梯町の文化財を紹介する冊子とマップ作成事業	20
18 歴史を活かしたまちづくり推進事業	21
19 歴史的風致紹介ガイド育成事業	22
20 広域連携推進事業	23
21 道の駅情報発信機能充実事業	24
22 史跡慧日寺跡と道の駅ばんだいを連結するアクセス道の整備	25
23 歴史まちづくり推進機構の設立	26
24 磐梯町歴史文化読本作成事業	28
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の修復・整備に関する取組み	29
2 文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組み	31
3 文化財の周辺環境の保全に関する取組み	32
4 文化財の防災に関する取組み	33
5 文化財の保存及び活用に活用の普及・啓発に関する取組み	34
6 埋蔵文化財の取扱いに関する取組み	35
7 住民、NPO等各種団体の状況及び今後の体制整備の取組み	36
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 磐梯山慧日寺ライトアップ「月待ちの灯り」及び響	37
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 史跡慧日寺跡を活用したイベントの実施	38

■法定協議会等におけるコメントシート(様式2) 39

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
計画の実施に向けた推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本計画の推進体制は、「政策課」が事務局となり、庁内各課で組織する「磐梯町歴史まちづくり庁内推進会議」において計画推進を図り、庁内の連絡調整を行うものとする。また、国、福島県等の関係機関との協議を行うとともに、相談や支援を得る。 歴史まちづくり法第11条に基づき設置した「磐梯町歴史的風致維持向上計画推進協議会」は事務局と連携し、計画の実施に関する協議、連絡調整を行う。なお、必要に応じて文化財所有者、管理者や文化財等の保存活用を行う町民、関係委員会や団体と連携し、支援を行う。 史跡慧日寺跡調査・保存・整備指導委員会においても、区域内の一体的な整備のため、まちづくりにおける情報共有や助言・指導を仰いでいる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="text-align: center;"> <p>計画の推進体制</p> <p>第12回磐梯町歴史的風致維持向上計画推進協議会 書面表決開催</p> </div>			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

史跡慧日寺跡整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------	---

事業期間 平成15年度～令和7年度

支援事業名 国庫補助事業(国宝重要文化財等保存活用事業)

計画に記載している内容  
 ・平成15年(2003)度から着手している史跡整備事業の継続  
 ・史跡としての案内表示の充実 など

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○令和4年に策定した「史跡慧日寺跡保存活用計画」に基づいて指定地本寺地区の次期整備を進めるにあたり、令和6年度に「史跡慧日寺跡整備基本計画」の策定を行った。7年度は基本計画の具体化を図るべく「史跡慧日寺跡整備基本設計」を策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

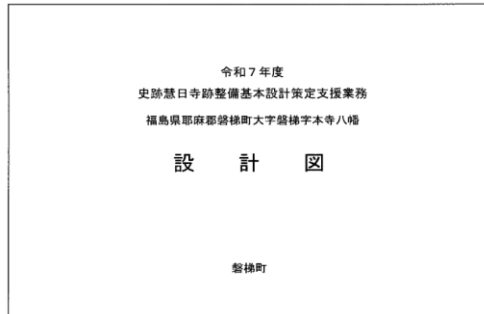
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等

史跡慧日寺跡整備基本設計策定



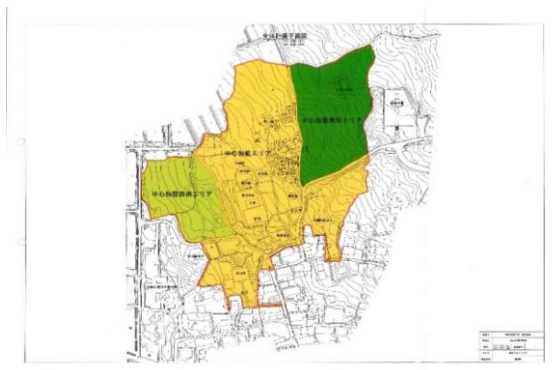
指導委員会による現地検討の状況



図面番号	設計図面の種類	縮尺	図面番号	参考図面の種類	縮尺
1	全体計画平面図	1:10000			
2	社殿跡地大平遺跡	1:5000			
3	社殿跡地詳細図	1:2000			
4	五所仏堂跡地大平遺跡(A)	1:2000			
5	五所仏堂跡地大平遺跡(B)	1:2000			
6	五所仏堂跡地大平遺跡(C)	1:2000			
7	五所仏堂跡地大平遺跡(D)	1:2000			
8	五所仏堂跡地大平遺跡(E)	1:2000			
9	五所仏堂跡地大平遺跡(F)	1:2000			
10	園路標準横断面図	1:1000			
11	園路標準縦断面図	1:1000			
12	中心部東西エリア平面図	1:5000			
13	中心部東西エリア横断面図(1)	1:1000			
14	中心部東西エリア横断面図(2)	1:1000			
15	中心部南北エリア平面図	1:5000			
16	中心部南北エリア横断面図(1)	1:1000			
17	サイン施設標準図	1:1000			
18	サイン施設詳細図	1:1000			



指導委員会による計画案検討の状況



	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

歴史的建造物保存事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------	---

事業期間	平成28年度～令和7年度
------	--------------

支援事業名	集約促進景観・歴史的風致形成推進事業(H28～29年度)街なみ環境整備事業(R1～R7年度)
-------	--

計画に記載している内容	歴史的まちなみを確保するために、歴史的風致形成建造物及び付随する塀、石垣などについて、地域の歴史的な技術や手法を踏襲し、歴史的まちなみに調和するよう建物の外観等の修景を行うとともに、改修等に対して支援を行う。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で


歴史的風致形成建造物に指定した建造物の修理等に要する費用の一部を助成し、所有者等に対する支援を実施。


- 歴史的風致形成建造物指定件数:計4件
- 歴史的風致形成建造物 平成28年度修理実施棟数 2棟
- 歴史的風致形成建造物 平成30年修理実施棟数(H29繰越) 2棟
- 歴史的風致形成建造物 令和元年修理実施棟数 1棟
- 歴史的風致形成建造物の修理に向けた建造物調査 令和2年調査棟数 1棟
- 歴史的風致形成建造物の修理に向けた建造物調査 令和3年調査棟数 1棟
- 歴史的風致形成建造物等の修理修景指針提案作成 令和4年作成
- 歴史的風致形成建造物 令和5年修理実施棟数(R4繰越) 1棟
- 歴史的風致形成建造物 令和6年修理実施棟数(R5繰越) 1棟
- 歴史的風致形成建造物 令和7年修理実施棟数 2棟・1棟(繰越)


進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	町と所有者の意見の相違や資力等もあるため、作成した指針提案に基づき、十分に意見交換を行いながら調整する必要がある。また、所有者への歴史的建造物の保存価値を十分理解して頂き修理に取り組む必要もある。
--------------------------	--

状況を示す写真や資料等







橋姫大明神(令和8年1月竣工)



大伴家住宅(令和7年8月竣工)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況

歴史的文化遺産調査事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------	---

事業期間 平成27年度～令和7年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容

- ・町内に点在する歴史的価値がある建造物・石垣・水路等、十分に調査されていない歴史的文化遺産の実態を把握し、適切に保全、利活用を推進するため、歴史文化遺産の調査を行う。
- ・慧日寺参道及び周辺地域の整備に向けて、まちなみの調査を実施する。
- ・実態が把握されていない歴史的建造物等について、所在や建築年代、建築技法等の悉皆調査を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本寺地区の特徴でもあり、歴史的価値の高い石垣について調査を行った。  
 平成30年度 3宅地分実施  
 令和元年度 14宅地分実施  
 令和2年度 2宅地分実施  
 令和3年度 1宅地分実施  
 令和4年度 1宅地分実施

進捗状況 ※計画年度との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	石垣調査にあたり調査方法マニュアルの検討が必要である。
--	-----------------------------

状況を示す写真や資料等

本寺地区石垣調査カード (龍宝寺参道および境内辺)

所在地	大字磐梯字本寺上
敷地内位置	①参道入口東、②a・b・c参道東側、③境内南西辺、西端は井戸に接する
方向	①東西方向、②a・b・c南北方向、③東西方向
積み方	①割石と自然角石の粗い組積、②a自然角石の組積、②b自然角石と割石の組積、南半側は自然角石を主用し組積が粗い、②c多角形切石と割石の組積で上端に扁平なものを主用、③自然石と自然角石、割石の組積で東端付近に割石が混じり、西端付近は自然石主用で野面積みに近い
規模	①全長上端3.0m、下端3.5m、②a上端8.4m、②b上端18.5m、②b上端13.5m、②a b c 通しの下端38.5m、③上端18.5m、下端18.6m 高さ:①a角部1.15m、東端0.45m、②ab 総目1.15m、②aの南側5.3mは上端部に土がぶさる、②b北端1.6m、②c南端1.75m、約15cmの段差あり、③東端は藪のため計測できず階段上段の上部分0.3m、西端0.5m、井戸に接続
積石形状	①割石、自然角石、②aとの角部のみ方形切石、②a自然角石、南端部セメント補強、②b自然角石、割石、②c多角形切石、割石、③自然石、自然角石、割石
石躯体寸法 石材質	全体通して割石・切石は安山岩、①30～60cm角、②a自然石20～60cm大、間込石は10cm大3cm厚程度、②b南半側20～50cm大、北半側20～30cm大、②c20～30cm、上部のみ80～100cm長×20～30cm厚、③西側30～40cm大、中程～東側20～80cm大、中程に大形の自然角石使用
備考	調査日時 令和元年11月29日



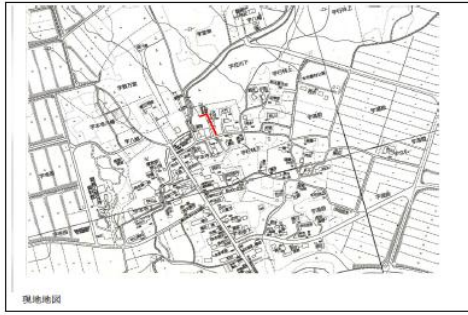


写真4 ㊸石垣南側（西より）



写真5 ㊸a石垣南側・北側石材大小差異（南西より）



写真6 ㊸b石垣南側・㊸a曜日（南西より）



写真7 ㊸b石垣南側・北側石材形状差異（南西より）

### 本寺地区 石垣調査カードの作成

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的まちなみ防災対策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和7年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	歴史的建造物が数多く立地する本寺地区を中心として、放水銃や消火栓、歴史的建造物の耐火性向上など地域防災施設の整備を行い、地域の防災性を高める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	本事業は参道に埋設されている水道管からの取り出しが必要となり、慧日寺参道の整備に合わせて施工することが効率的であることから事業期間を延期。		
状況を示す写真や資料等			



評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
まちづくり団体設立・育成支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和7年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	慧日寺の歴史を継承し、保存活用を行うまちづくり団体の組織化や育成を図り、保全、利活用に向けた取組みを活性化させるとともに、活動経費の一部について助成金を交付し支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
本寺地区において、地区住民が主体となったまちづくり団体の設立に向けた地元説明会を開催し、問題提起をしながら意識向上を図る計画であったが、令和7年度に説明会を開催することが出来なかった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			





評価軸③-6 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
伝統文化財継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和7年度		
支援事業名	地方創生加速化交付金事業、町単独事業		
計画に記載している内容	・祭礼や地域の民俗芸能の活動を促進するため、用具等に対して助成を行う。 ・江戸時代以来途絶えている明神舞や現在活動を休止している火伏せの火渡りなどの祭礼の再興を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
県指定重要無形民俗文化財「磐梯神社の舟引き祭りと巫女舞」の実行委員会に対して、地域の民俗芸能に対する価値の認識と継承保存を促進するため、助成制度の充実を図っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和元年度までは地元世帯数の減少などにより、祭事運営の経費が負担となり伝承に支障をきたしつつあることから、町では文化財保存伝承補助金を交付、また、長年、担い手不足が深刻な問題となっていた巫女舞が、新たな形の保存団体として発足した。また、途絶えていた明神舞も復活した。(令和8年3月20日開催)		
状況を示す写真や資料等			
			
県指定重要無形民俗文化財「巫女舞 太刀の舞」			
			
復活した「明神舞」			

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
磐梯町景観計画策定事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和7年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	慧日寺跡を含む文化財と磐梯山の自然との一体的な景観形成の方針の確立に向けて、本町独自の景観計画を策定する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観計画策定に向けての土壌づくりとして、地区懇談会を開催し住民の歴史まちづくりの気運の醸成を図った。平成31年3月には、まちなみの良好な景観形成を図る目的として、「磐梯町本寺地区まちづくり協定」を制定した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観計画策定に向け、引き続き地区との協議を行っていく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 20px; margin: 20px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">磐梯町本寺地区まちづくり協定</p> <p style="text-align: center;">平成31年3月 本寺地区行政区</p> </div> <p style="text-align: center;">平成31年3月24日に制定されたまちづくり協定</p>			

評価軸③-8 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		令和7年度
令和7年度	項目	評価対象年度 令和7年度 現在の状況
歴史的まちなみ整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度～令和7年度	
支援事業名	町単独事業、街なみ環境整備事業(令和元年度～令和5年度)	
計画に記載している内容	歴史的まちなみを確保するために、歴史的風致形成建造物以外の歴史的な建物や塀、石垣などについて、地域の歴史的な技術や手法を踏襲し、歴史的まちなみに調和するよう建物の外観等の修景を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
歴史的風致形成建造物に指定されない建造物の修理等に要する費用の一部を助成し、所有者等に対する支援を実施。 ・令和2年度 住宅外壁修景、1件 ・令和3年度 土蔵外壁修景、1件・住宅外壁等修景2件  歴史的まちなみに調和するよう町が所有している工作物等の修景を実施。 ・カーブミラー修景実施(平成28年度、2基・平成29年度、2基・平成30年度、1基) ・地区住宅案内看板修景実施(令和元年度、1基) ・個人所有板塀修理実施(令和元年度、1件) ・町所有ガイダンス広場整備(令和3年度、1件) ・史跡名勝案内板整備(令和4年度、1件) ・史跡名勝案内板整備(令和5年度、1件) ・史跡名勝案内板整備(令和6年度、2件) ・史跡名勝案内板整備(令和7年度、1件)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>①</p>  <p>史跡名勝案内板整備(令和7年度)</p> </div> <div>  </div> </div>		

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
慧日寺参道整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和7年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	慧日寺の開基以降、中世には整備されていた参道の歴史的な価値を広く町民と共有するため、慧日寺参道及び恵日寺へのアプローチ道路において、無電柱化、参道沿いの水路整備、参道の美装化など景観改善を推進する。また、整備にあたっては生活交通に支障を来さないよう生活用道路を含めた交通誘導について検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	参道は平成29年3月、福島ブロック無電柱化協議会事務局会議において「事前協議要検討・要請者負担で合意」と決定。現段階では、無電柱化の手法が決まっていないことや、地区の合意形成が得られていないこと、技術的・法的にクリアしなければならない諸条件がある。 なお恵日寺へのアプローチ道路整備は令和2年度に着手、美装化による景観向上が図られた。		
状況を示す写真や資料等			
			
参道無電柱化予定場所		無電柱化現地調査の様子	
			
恵日寺アプローチ道路			

項目	評価対象年度
	令和7年度 現在の状況
慧日寺門前市整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和2年度

支援事業名 集約促進景観・歴史的風致形成推進事業、町単独事業

計画に記載している内容 慧日寺参道沿いの民家を活用し、歴史的景観を象徴するファサードを持つ地域活性化の拠点となる多機能型施設を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物に指定した旧吉田家住宅の改修工事を実施(平成29年度～平成30年度)  
 土地:磐梯町大字磐梯字本寺上4962番地 A=1774.07㎡  
 建物:居宅 木造草葺平屋建 A=195.04㎡(築140年)  
 「徳一の里 庄九郎亭」として、平成31年4月 OPEN  
 ・これまでの貸しスペース、観光案内所機能に加え、令和6年度から、ランチの提供や、町内イベント参加者やツアー参加者の昼食会場となるなど、地域の魅力の発信やにぎわいを創出するための施設として展開している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症の5類への変更以降、史跡慧日寺跡を訪れる来訪者も増え「徳一の里 庄九郎亭」の入込客数も通年ベースに戻りつつある。 なお令和4年度から町内各種サークル団体が日替わりで祭事を来訪者に提供し交流を深めている。令和6年度からはランチ提供を開始した。

状況を示す写真や資料等



ランチ提供の開始



町内イベントの昼食会場として  
(フォトウォークばんだい)



平成31年4月にOPENした旧吉田家住宅  
「徳一の里 庄九郎亭」

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
花川自然石護岸及び水路改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和7年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、町単独事業

計画に記載している内容 現在コンクリートで舗装されている本寺地区内を流れる花川の河川改修を実施するとともに参道沿いの水路や生活水路などについて防災にも配慮した上で改修を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

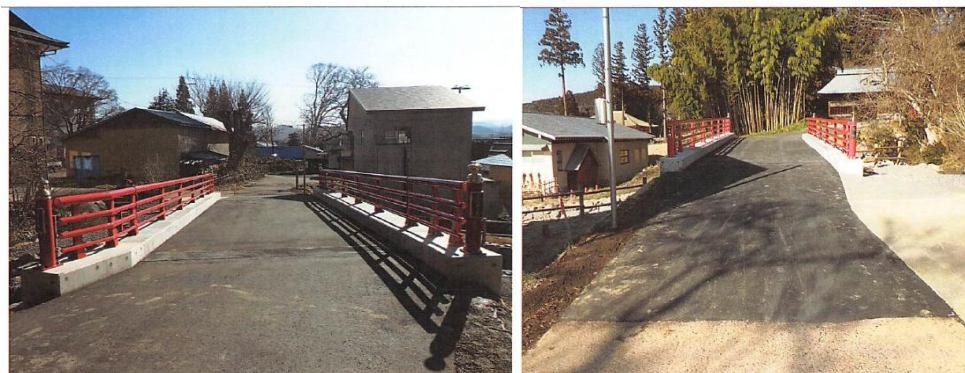
歴史的景観を再生するため、本寺地区を流れる普通河川花川の護岸改修整備詳細設計及び3つの橋梁改修設計を実施。平成29年度 河川整備工事 L=62.162m【平成30年繰越】平成30年度 河川整備工事 L=10.0m【事故繰越】

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



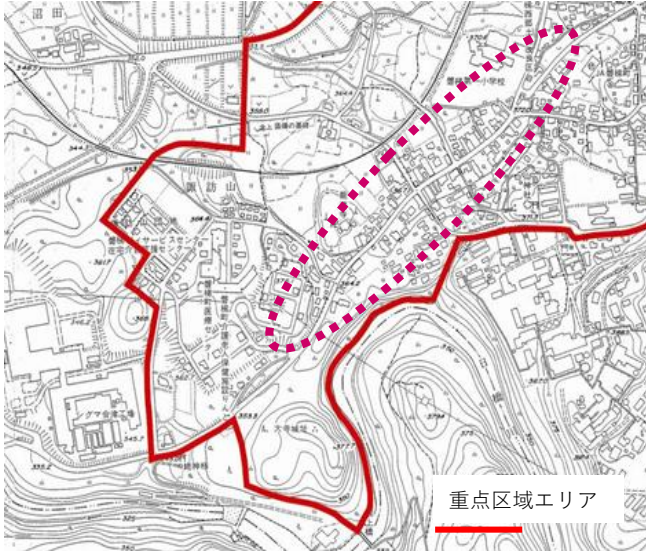
護岸改修(石積み)した花川



改修した仁王橋

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
大寺城の調査・保全整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和5年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	慧日寺の存在を背景に、宿駅として発展した大寺地区のにぎわいを取り戻すために、大寺城跡を整備、保存活用を図り、大寺地区と一体的に周遊できるよう整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	現在、大寺城跡は東京電力が所有する土地であり、今後の整備・保存活用を図るうえで協議が必要である。現時点で具体的な整備活用方針(協議)も決まっていない。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>会津古城図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>現在の大寺城跡</p> </div> </div>			

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

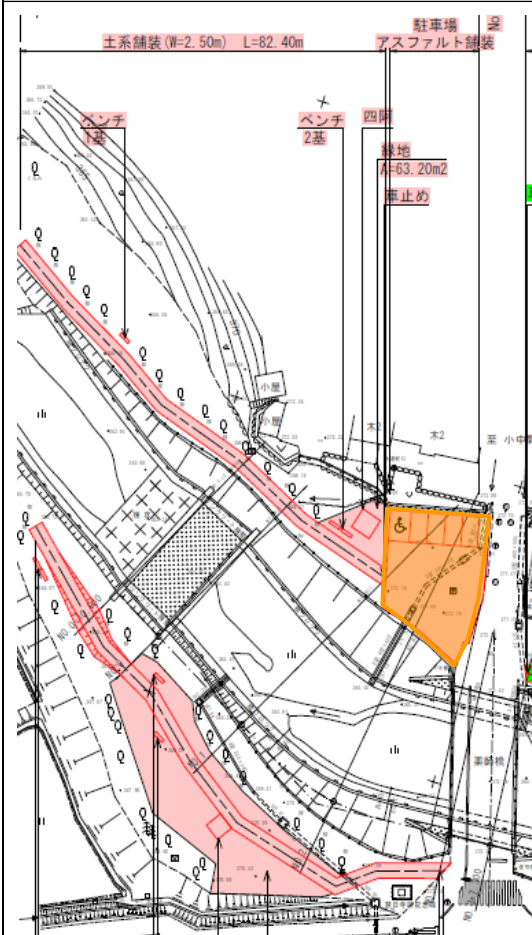
		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
大寺地区歴史的風致保全事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和5年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	大寺地区における宿駅としての歴史を体現する建造物、まちなみの保全、屋号等の案内板の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	本寺地区を先行して着手しており、大寺地区住民への説明や合意形成に至っていない。		
状況を示す写真や資料等			
			
			
現在も掲げられている屋号		磐梯酒造の応接間	

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
史跡慧日寺跡へのアプローチ整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和元年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	史跡慧日寺跡、磐梯山慧日寺資料館、慧日寺参道へのアプローチを整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財周辺の除草作業や景観整備等を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
			
史跡周辺における景観の整備およびこれまでの花壇整備の様子			

項目		評価対象年度	令和7年度
			現在の状況
大型バス迂回路整備事業			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成30年度～令和3年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	慧日寺跡の史跡としての価値をできるだけ多くの人に知ってもらうため、大型観光バスの迂回路を標識等とあわせて整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度に大型バス迂回場所隣接の一級河川大谷川護岸整備に併せ、大型バス迂回場所の整備設計を完了(296㎡)。整備工事を令和3年11月に完了。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	現状では、大型バスも磐梯山慧日寺資料館駐車場に駐車しているが、参道整備にあわせて、車の乗り入れが制限されることから、参道整備にあわせて一体的な整備を検討する必要がある。		

状況を示す写真や資料等



大型バス迂回場所整備平面図



大型バス迂回場所(整備前)



大型バス迂回場所(整備後)

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

磐梯山慧日寺資料館リニューアル事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------------	---

事業期間	平成30年度～令和2年度
------	--------------

支援事業名	町単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	慧日寺の文化的意義に関する情報発信、教育、学習基盤施設として、昭和62年8月に開館し、歴史まちづくりの拠点として大きな役割を果たしていることから、歴史文化の中核拠点として整備する。具体的には、映像を用いることにより、往時の門前町の雰囲気、徳一と最澄の論争等をイメージアップする。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

現在の資料展示だけでなく、ITを活用した映像展示などにより施設の魅力を高めるため、VR展示を展開するための令和4年度に検討委員会を設置。令和7年度の展示公開を目指すもの。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 財政負担が課題となる。
--	---

状況を示す写真や資料等



現在の資料館【内観】

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

磐梯町の文化財を紹介する冊子とマップ作成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------------------	---

事業期間 平成29年度～令和7年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容  
 磐梯町に存在する様々な文化財に対する理解の深化や文化財に触れるきっかけ、保全・利活用に対する意識形成を促進するツールとして、文化財を紹介する新たな冊子と写真スポットやロコミ等、訪れる人の目線に立った読みたくなるマップを作成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度 観光ガイドブックを最新情報に更新した。  
 印刷部数: 20,000部

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



観光ガイドブックを更新

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

歴史を活かしたまちづくり推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------------	---

事業期間 平成28年度～令和7年度

支援事業名

計画に記載している内容 歴史まちづくりに関する意識を高めるため、歴史まちづくりやまちなみ、景観形成について講演会や勉強会、研修、ワークショップを開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○磐梯の文化遺産ワークショップ 全5回(7月24日・7月23日・8月20日・9月24日・10月8日)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等








磐梯の文化遺産ワークショップの状況

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的風致紹介ガイド育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和7年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	史跡慧日寺跡等を訪れた観光客等に対して、会津仏教文化の拠点として存在している磐梯町の歴史と魅力を的確に知らせることができるようにするため、地域の担い手となるガイドを育成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
ボランティアガイド実績 平成29年度 5回(57名)・平成30年度 4回(83名)・令和元年度 4回(35名) ジオサイト・フィールド研修 令和元年度 2回(19名) ジオガイドによる史跡エリアガイド実績(令和6年度 マツダロードスターミーティング 10名、水戸第二高校24名) ジオガイドによる史跡エリアガイド実績(令和7年度 マツダロードスターミーティング 11名、水戸第二高校30名)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
マツダロードスターミーティングにおける史跡エリアガイド			

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
広域連携推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和7年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	仏都会津として豊富な歴史的文化的資源を擁する周辺地域との連携を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
史跡慧日寺跡を活用した事業として実施 ◆「花の王国ふくしま フラワースタンプラリー2025」開催期間:2025年3月19日～2025年6月30日			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
フラワースタンプラリー			

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
道の駅情報発信機能充実事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和4年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容  
 慧日寺門前町の歴史に関する様々な情報を入手することができ、歴史に関心をもった町民や来訪者が交流することができる周遊の起点として、道の駅の情報発信機能の充実強化を図るとともに、史跡慧日寺跡と相互に連携できる一体的な地域空間を創出するための道の駅の拡張整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

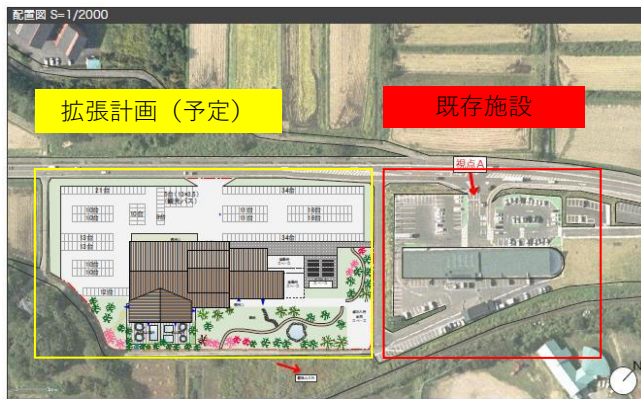
- ・史跡慧日寺跡などの歴史を詳しく知ることのできる展示スペースの整備
- ・史跡慧日寺跡と連携した回遊性を高める機能の整備
- ・町民、観光客が相互に交流でき、滞留時間を伸ばすための温浴施設を整備

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

基本構想を基に検討を行っている。

状況を示す写真や資料等



拡張計画 (予定) イメージ

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

史跡慧日寺跡と道の駅ばんだいを連結するアクセス道の整備	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------------------	---

事業期間 平成30年度～令和5年度

支援事業名 町単独事業

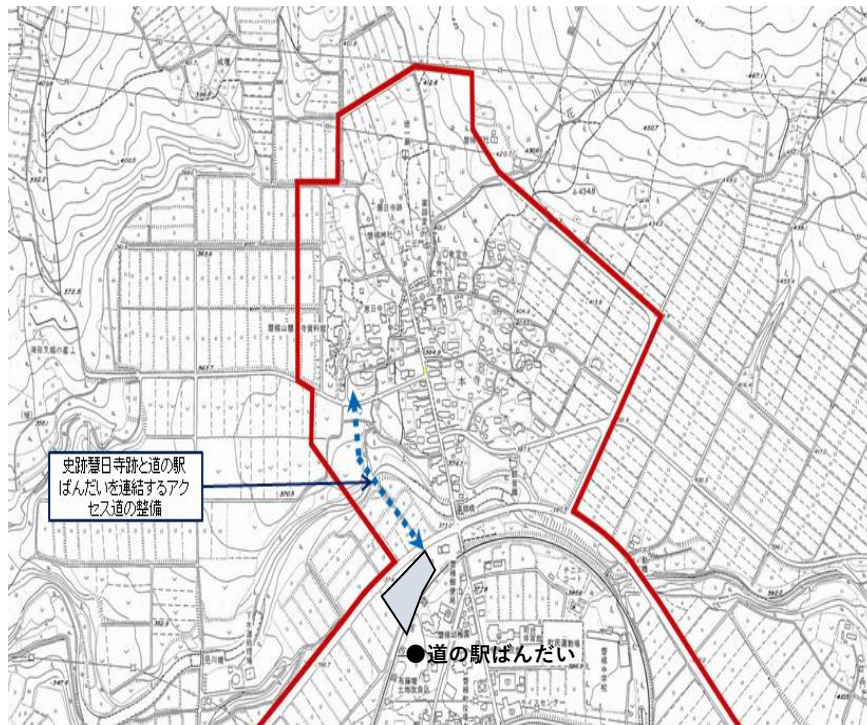
計画に記載している内容 道の駅ばんだいから史跡慧日寺跡・磐梯山慧日寺資料館へのアクセスを改善するため、大谷川を横断する新しいアクセス道を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	アクセス道の整備予定箇所には県道横断・第一種農地や一級河川等が存在するため、工法・用地取得を含めさらなる検討を要する。
--	---

状況を示す写真や資料等



## 評価軸③-23

## 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
歴史まちづくり推進機構の設立		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和5年度

支援事業名

計画に記載している内容

主要集客交流施設である史跡慧日寺跡・磐梯山慧日寺資料館、道の駅ばんだい周辺地域で、官民連携によるエリアマネジメントを実施する地区の一体的な管理運営組織として、「歴史まちづくり推進機構(仮称)」をまちづくり会社方式で設立する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

磐梯町の産業振興と地域経済の活性化、豊かな地域社会の実現のため、令和3年6月に「一般社団法人ばんだい振興公社」を設立。まちづくりの推進及び公共施設の管理・運営を主とし、これまで「道の駅ばんだい」と「旧吉田家住宅」の運営を受託している他、令和6年度から磐梯山慧日寺資料館の運営を一部受託し主要集客交流施設の一体的な管理運営に着手している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

行政と連携する公益的民間組織として、設立の趣旨である「まちづくりの推進」のため、公共施設運営事業や観光関連事業の促進には、住民が主体となった活動を行政として支援できる体制づくりが必要である。

状況を示す写真や資料等

福島県磐梯町

## 「一般社団法人ばんだい振興公社」設立のお知らせ

～行政と連携し、愛着人口拡大による地域経済の活性化を促進～

設立日 2021年6月

福島県磐梯町(ばんだいまち)(町長:佐藤淳一、以下磐梯町)と、磐梯町商工会(会長:吉田長政)は、2021年6月22日に「一般社団法人ばんだい振興公社」(所在地:福島県磐梯町 代表理事:佐藤淳一)を設立しました。今後は、行政と連携しながら、まちづくり推進と、町民の福祉向上、地域経済の活性化を目指します。

**設立の意図と経緯**

ばんだい振興公社は、行政と連携する公益的民間組織です。磐梯町が掲げる「自分たちの子や孫が暮らし続けたい魅力あるまち」というビジョンを共に実現すべく、産業の振興と愛着人口\*の拡大による地域経済の活性化を促進し、地域への還元・還流を繰り返しながら豊かな地域社会の実現を目指します。

設立当初は、ふるさと納税に関する業務を担います。ふるさと納税による寄附を募りながら、町内事業者が生産・製造する地場産品の魅力発信・商品開発等のマーケティング業務、受注管理、そして寄附金により実現した事業の発信を行います。

ふるさと納税返礼品のイメージ

\*愛着人口:磐梯町への来訪等の有無や町民であるかを問わず、磐梯町に対して好意を持ったり、温もりを感じたり、愛しんだり

いった気持ちをもつ人をいう。ばんだい振興公社の造語。

#### 今後の展望

今後は、「道の駅ばんだい」や、慧日寺資料館周辺施設などの公共施設の運営事業も担っていく予定です。また、特産品開発事業や、観光関連事業、起業支援、移住定住事業など、産業の振興と受着人口の拡大による地域経済の活性化につながる事業を展開し、豊かな地域社会の実現を目指します。



道の駅ばんだい

#### 事業内容

##### <設立当初の事業>

ふるさと納税に関する業務

##### <今後において予定される事業>

道の駅ばんだい運営事業・公共施設運営事業（慧日寺資料館周辺施設等）・特産品開発事業・マーケティング事業・観光関連事業・人材投資・まちづくり活動サポート・起業支援・移住定住事業

#### 法人の概要


名称：一般社団法人ばんだい振興公社

所在地：福島県耶麻郡磐梯町大字磐梯字山道 311 番地 55（※リオンドール磐梯店内）

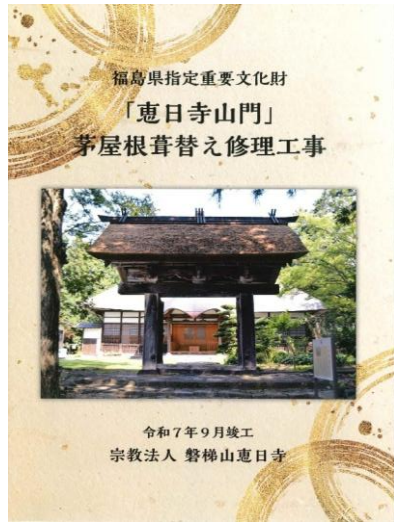
設立：2021年6月

代表理事：佐藤淳一

ばんだい振興公社プレスリリース

評価軸③-24 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度 令和7年度 現在の状況
磐梯町歴史文化読本作成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年度～令和4年度
支援事業名	
計画に記載している内容	磐梯町の歴史や伝統の理解と生まれ育った郷土愛を育むため、副読本を作成する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
作成に向けた関係機関との協議	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	前回の副読本作成から20年以上経過しており、内容の見直しをどの程度まで実施するかが課題。(改訂増補とするか、内容を刷新するか。また、その場合の編さん組織をどのようにするかなど)教育関係との連携も不可欠である。
状況を示す写真や資料等	
 <p>副読本 『わたしたちの郷土』 平成5年(1993)作成 平成10年改訂</p>	

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財の修復・整備に関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の適切な維持管理に向けて、指定文化財の現状把握に努めるとともに、損傷具合等により優先順位を決めて修復・整備を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○平成30年度、県指定重要無形民俗文化財「磐梯神社の舟引き祭り」と巫女舞」 巫女舞にかかる囃子・巫女の装束を新調更新。 ○令和元年度、町指定民俗文化財「布藤山の神の獅子頭及び用具6点」のうち 今回、神楽面4枚を修復した。 ○令和2年度、町指定有形文化財「薬師堂」の経年劣化した外壁を修復した。 ○令和7年度 県指定重要文化財「恵日寺山門」の茅葺屋根葺替え修理を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
【県指定重要文化財「恵日寺山門」の屋根葺替え修理】			
			
【修復前】		【修復後】	



竣工記念誌の発刊

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況

文化財の保存・活用を行うための施設に関する取り組み

- 実施済
- 実施中
- 未着手

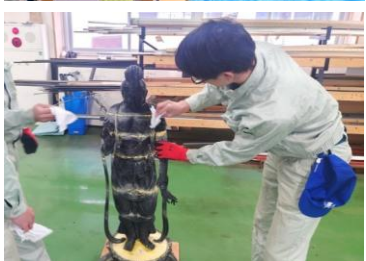
計画に記載している内容 磐梯山慧日寺資料館や慧日寺跡金堂の周辺施設において、往時の雰囲気や、会津仏教文化を楽しみながら学べる施設として機能更新を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成28年度より磐梯町公衆無線LAN「BANDAI Free Wi-Fi」の運用開始  
(史跡慧日寺跡休憩施設・史跡慧日寺跡・磐梯山慧日寺資料館)
- 平成30年度、金堂でのイベント等を継続していくため、県のサポート事業により、照明・音響・ベンチを購入した。
- 令和元年度、文化財の保存と活用を目的とし、町で改修した旧吉田家住宅が新たに観光交流拠点としてオープンした。
- 令和6年度、慧日寺跡金堂地内の休憩施設を改修し、女性や若年層にも史跡を楽しんでもらえる施設として、カフェ「bandai cofee」をオープンした。
- 令和7年度、慧日寺金堂薬師の脇侍像3Dプリンタ縮小模型の製作を地元工業高校に依頼。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	金堂内展示物として薬師像を復元展示してから5年以上が経過する中で、展示物の更新・充実を図るべく専門委員会を結成し、両脇侍像の復元に向けた検討を続けてきた。7年3月までに粘土での縮小ひな形像の制作に至ったところである。今後の具体的な制作・展示法の結論が出ていないため、7年度から地元工業高校の協力のもと、官学連携事業としてひな形のデータをもとに3Dプリンタ像の製作に取り組んでいる。

状況を示す写真や資料等



高校でのレクチャーから製作、納品まで

### 慧日寺金堂薬師脇侍像復元プロジェクト

2015年、町では復元した金堂内の展示物として、慧日寺の本尊であった薬師如来坐像の復元に着手しました。約2年半にわたって、復元した坐像と同年代である初期の薬師如来像の制作に取り組み、2018年7月より展示公開を始めた(左写真)。

一般的に、薬師如来像は日光菩薩・月光菩薩像を両脇侍とする三尊形式であることから、2023年度からは将来的な両像の復元展示を目的とし、仏像・仏具美術の専門家からなる専門委員会を立上げて検討を始めた。2か年におよぶ調査・検討を経て下記のような結論を決定し、粘土によるひな形像の制作によるデータ化、さらには3Dプリンタによる縮小模型の制作を行った。なお、具体的な制作手法・制作時期などは、引き続き検討を進めていく予定。

**ステップ1 原画の調査・縮小**

年間の調査・原画の調査等の日光菩薩・月光菩薩像(国史)や、国内に残る同時代の仏像を参考にしながら、慧日寺本尊の両像の像高などのようなものがあったが、検討を重ねました。

薬師像ではその内径を反転した断面を縮小縮小し、さらに検討を加えました。

右 日光菩薩立像のひな形  
左 月光菩薩立像のひな形

**ステップ2 粘土ひな形像の制作**

縮小での検討後、今回は立体的な視点からの確認を行うため、粘土が乾燥後土質による縮小ひな形像を制作しました。縮小では複製しきれない手作業や塗料・状況などの確認について、この粘土像ですらに複製機を駆使しました。

なお、検討を終えた粘土像は長期間の保存ができないことから、写真撮影によるデータ化を行っています。

**ステップ3 3Dプリンタ像の制作**

会津工業高等学校の機材では、2018年に会津地方の民間から提供された仏像の3Dプリンタによる複製プロジェクトに取り組んだ経験があります。

2025年度、前ではこの実績を踏んで同様に両脇侍像の3Dプリンタ複製の制作を依頼しました。

ひな形像のデータをもとに、機械科3年生の8人が課題研究として取り組み、初年度は月光菩薩像の制作にあたりました。



完成後の資料館での展示状況(月光菩薩像)

評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項	
項目	評価対象年度 令和7年度
文化財の周辺環境の保全に関する取組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容 空間の基盤を成す磐梯山麓の自然環境を確実に保全し、既存の良好な史跡景観を保全を推進するとともに、歴史的景観の復元に向けた魅力ある空間形成を推進する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
史跡慧日寺跡指定範囲内等の適切な草刈り及び樹木保全作業 A=9,400㎡	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
状況を示す写真や資料等	
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">     </div> <p style="text-align: center;">史跡地内の草刈り・除草・芝管理等の状況</p>	

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
	項目	現在の状況

文化財の防災に関する取組み

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

文化財を火災や地震等の災害から守り、後世に正しく引き継ぐために、定期的な見回りや火の後始末の確認などの日常管理の徹底について啓発するなど、町民の防火、防災意識の高揚を図り、地域ぐるみの防災体制の整備に努めるとともに、文化財の所有者に対しては、防災に係る周知と防災教育の取組みを通して日常の防災意識の向上を促進する。  
また、文化財の防犯体制については注意喚起等、適宜、文化財所有地区へ周知徹底している。現在、史跡慧日寺跡金堂内、防犯カメラ1基設置済。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○令和8年1月25日、猪苗代消防署警梯出張所、警梯町消防団及び文化財建造物管理者と連携し、文化財建造物(恵日寺本堂・山門、金堂、仁王門、薬師堂、龍宝寺ほか)の防火査察及び史跡慧日寺跡地内の龍宝寺不動堂を対象とした火災通報訓練・放水消火訓練を実施。  
○町指定文化財自動火災報知機設備点検・更新にかかる町補助 (恵日寺本堂・山門、仁王門、薬師寺、龍宝寺)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	夜間無人箇所が多く、防火・防犯体制の強化は懸案事項となっている

状況を示す写真や資料等

【防火査察・文化財建造物放水訓練の実施状況】



龍宝寺・薬師堂の火災受信盤の査察



龍宝寺不動堂外周の防火査察



薬師堂内の防火査察



住民による防災無線通報訓練



消防団による放水訓練



消防団による放水訓練

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する取組み

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 文化財に親しみを持ってもらうため、復元された金堂・中門を活用したイベントの活性化や、発掘体験、写生会など学校教育・生涯学習の場としての活用を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 慧日寺資料館歴史講座 全5回(5月24日・6月7日・9月15日・10月4日・11月8日、いずれも土曜日)
- 令和7年度企画展「妖怪か神様か?～摩訶不思議 手長足長の世界～」7月26日(土)～9月23日(火・祝)
- 県指定重要文化財「恵日寺山門」屋根葺替え修理に伴う、町内児童館児童の現地見学会 8月5日(火)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

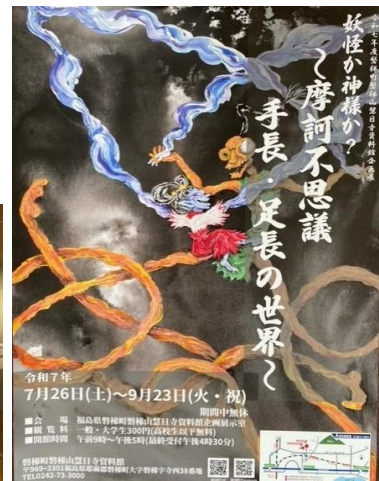
状況を示す写真や資料等



令和7年度磐梯山慧日寺資料館歴史講座



令和7年度企画展「妖怪か神様か?～摩訶不思議手長足長の世界～」



恵日寺山門屋根葺替え修理現地見学会及び恵日寺本堂内拝観の状況

評価軸④-6	
文化財の保存又は活用に関する事項	
項目	評価対象年度 令和7年度
項目	現在の状況
埋蔵文化財の取扱いに関する取組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容 町内の埋蔵文化財包蔵地については常に状況を把握し、開発等を行う際には関係部局との事前協議を通じて保存協議を図る。また、史跡の発掘を推進するとともに、発掘体験の場の提供等を通じて埋蔵文化財の重要性の啓発を推進する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	開発等に伴う包蔵地の問合せは2件。いずれも包蔵地対象外ではあったが、発見に至った場合の事前指導を行っている。なお、令和7年度は埋蔵文化財発掘調査の件数は0件である。史跡も本寺地区の整備段階を迎えていることから、一時中断中である。
状況を示す写真や資料等	

評価軸④-7 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
住民、NPO等各種団体の状況及び今後の体制整備の取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の保存・活用に向けた取り組みの推進やNPOなどの団体設立について助言・指導を進めていき、活動に対する支援を行う等、住民やこれらの団体等と連携して文化財の保存・活用に努める。 また、令和9年4月にDMO設立に向け、関係期間と連携し設立に向けて準備を進めている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
舟引き祭り実行委員会主催の「県指定文化財 舟引き祭りと巫女舞」挙行の際の活動に対する支援を実施。(巫女舞児童、囃子楽人の会場への送迎、町や観光協会公式SNSによる情報発信等)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
舟引き祭り		巫女舞	
			
		舟引き祭り時の振舞	

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和7年度
主な報道等タイトル		年月日	掲載紙等
磐梯山慧日寺ライトアップ「月待ちの灯り」及び 響		令和7年6月号	磐梯町弘報
慧日寺資料館企画展「オニ集う地獄・極楽の世界」		令和7年9月号	磐梯町弘報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国指定史跡慧日寺跡の南側に整備していた、旧吉田家住宅が新たな観光交流拠点「徳一の里 庄九郎亭」として6年目を迎え、これまでの休憩所・観光案内機能の他、ランチ提供の開始をおこなった。  
 また、金堂敷地内にカフェ「bandai coffee」が2年目を迎え、多様な方に史跡を楽しんでいただく休憩所として、利用いただいている。  
 なお、人気のイベント「月待ちの灯り」が、第19回日本夜景遺産新規認定地に選出され、町内外へのアピールするとともに歴史まちづくりに対する関心が更に高まった(県内6か所目、会津2か所目)。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



2025  
6  
 No.737

**本 寺地区でライトアップイベント**

5月24日(土)・25日(日)史跡慧日寺跡において、ライトアップ「月待ちの灯り」が開催されました。  
 24日(土)には、会津田島太鼓保存会による公演が行われ、来場者の皆さんは灯ろうの明かりと勇壮な太鼓の演奏を楽しみました。  
 磐梯神社では、太刀の舞の奉納と初めての試みとして境内のライトアップが行われました。



会津田島太鼓保存会



月待ちの灯り (史跡慧日寺跡)



磐梯神社ライトアップ

**慧 日寺資料館公演「響」**

5月3日(土)磐梯山慧日寺資料館および史跡慧日寺跡において、会津の彼岸獅子3団体が勇壮な舞を披露しました。



下柴彼岸獅子 (喜多方市)



赤枝彼岸獅子 (磐梯町)



天寧彼岸獅子 (会津若松市)



2025  
10  
 No.741



「妖怪か神様か〜摩訶不思議 手長・足長の世界〜」

資料館企画展だより

令和7年度磐梯山慧日寺資料館企画展

評価軸⑥-1  
その他(効果等)

項目 評価対象年度 令和7年度

史跡慧日寺跡を活用したイベントの実施

計画に記載している内容 文化財に親しみを持ってもらうため、復元された金堂・中門を活用したイベントの活性化や、発掘体験、写生会など学校教育・生涯学習の場としての活用を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- ・響 HIBIKI 令和7年5月3日(土)
- ・月待ちの灯り 令和7年5月24日(土)・25日(日)
- ・禅縁日 令和7年10月18日(土) 外部団体主催
- ・マツダロードスター東北ミーティング 令和7年10月19日(日) 外部団体主催
- ・紅葉と光の中で 令和7年10月25日(土)～11月9日(日)
- ・秋の門前市 令和7年11月3日

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和7年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第13回磐梯町歴史的風致維持向上計画推進協議会	
令和8年8月開催予定	
(今後の対応方針)	